

海をまもる洗剤 実施試験一覧

1

生分解性試験

実施日：2022年6月30日
検査機関：大阪産業技術研究所

OECD 基準 DOC 法（OECD301A）にて試験。洗濯排水における生分解とは排水が微生物などによって分解され水と二酸化炭素に還ることを言います。生分解性が高いほど、環境への負荷が低くなります。

結果：28 日間で全成分の 89.2% の生分解が証明

2

成分分析試験

実施日：2021年11月18日
検査機関：日本食品分析センター

試験内容：食品衛生法に基づく洗浄剤の成分規格、日本工業規格（JIS）に基づく洗剤の品質規格を基準とした成分の分析

結果：全りん酸塩：検出せず・重金属：1.0 mg/L 以下・ひ素：0.05 mg/L 以下・メタノール：0.1 質量分率 % 以下

3

BOD・COD 試験（水質の指標となる試験）

実施日：2021年10月22日
検査機関：日本食品分析センター

BOD は水生生物の生息のための水中有機物の質量を測定する試験。COD は微生物が有機物を分解する時に消費される酸素量を調べる試験。どちらの試験においても値が低く水質汚濁の影響は低いと評価された。

結果：COD：21mg/L BOD：17mg/L

4

お肌の安全性試験

実施日：2021年11月22日～
検査機関：株式会社 SOUKEN

スティンギングテスト

対象：刺激性を感じやすい敏感肌を自覚する、20 歳～60 歳の女性 10 名。

試験方法：頬部に海をまもる洗剤を塗布し、直後（30 秒後）、2 分後、5 分後の刺激感を被験者自身が評価。

結果：4 段階（刺激なし：1～激しい刺激：4）評価で総平均スコアは 2.100 であり、海をまもる洗剤のスティンギング判定は刺激性無しと評価された。

パッチテスト（24 時間連続貼付）

対象：20 歳～60 歳の日本人男性及び女性 20 名。

試験方法：皮膚テスト用パッチテープに洗剤を染み込ませて、被験者の背部に 24 時間貼付（観察期間3日間）

結果：皮膚刺激指数値は 0.0 で安全品と評価された。

5

防汚試験

実施日：2021年10月22日
検査機関：ポーケン品質評価機構

試験内容：汚染物質を付着させた綿布に海をまもる洗剤を滴下し 10 分放置

結果：カレー・ミートソース・ラー油の 3 種で汚れの落ちやすさを確認した。